

はじめに

本号は、筑波大学大学研究センターが実施したプロジェクト研究「高度専門職業人を対象としたリーダーシップ開発の方法に関する研究」(2014年3月～2016年7月実施)の報告書としてとりまとめたものです。

組織においては、リーダーシップの在り方がその組織文化や業績に大きな影響をもたらすことから、日本においてもリーダーシップ開発のための教育実践が、専門職大学院等の高度専門職業人養成課程や各種研修等の場において様々に取り組みられてきました。しかしながら、職業人を受講者とする大学院レベルの授業を対象とした授業研究や、リーダーシップ開発に焦点を当てた授業研究は、国内・国外を通じて成果の蓄積が乏しいのが現状です。

本プロジェクトは、高度専門職業人のリーダーシップ開発を目的とした大学院レベルの教育において、どのようなプログラムが効果的であり、どのようにして効果的なプログラムを開発すればよいのか、明らかにすることを目的として実施しました。

具体的には、研究方法としてアクションリサーチを用い、授業実践者である大学教員自身が自らの授業の開発・改善を目的とした研究を行うとともに、各々の成果を持ち寄って、係るプログラムの開発方法に関する新たな知見を得ることとしました。日本における係る趣旨の研究は、教職大学院等における学校の教員を対象とした研究において多くの蓄積があることから、プロジェクト・メンバーとして、教育経営学研究分野の第一線で活躍しておられる学外の先生方に多くご参加いただきました。

これまで当センターでは、専門職育成のための授業法に関する研究(第43回公開研究会及び『大学研究』第34号)や、履修証明制度に基づく大学職員を対象とした高度専門職業人養成のための実践研究を実施してきました。本報告書に掲載した拙稿においても、大学職員を対象とした上記プログラムにおけるリーダーシップ開発に係る研修効果の検証を行っています。

大学設置基準の改正により大学職員にスタッフ・ディベロプメントが求められるのみならず、新たな教職大学院の開設が相次ぎ、職業教育に特化した専門職業大学が創設されるといった近年の動向を踏まえると、職種を限らずに、組織で働く職業人にとって必要とされるリーダーシップ開発とはそもそもいかなるものなのかを問う視点が、今後は重要になると思われれます。本プロジェクトでは、プロジェクト・リーダーの専門分野である経営学(HRD)の視点とプロジェクト・メンバーの専門分野である教育経営学の視点を融合させた学際的な研究である点に特色があります。今後は本プロジェクトから得られた知見を発展させ、高度専門職業人を対象とした更なる人材開発研究・授業研究へと発展させていくことを考えています。

本プロジェクトでは、問題意識を同じくする先生方と、刺激のかつ示唆に富むクオリティが高いディスカッションを行う機会を得ることができました。ご協力下さった先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。

2016年7月

筑波大学 大学研究センター

佐野享子(プロジェクト・リーダー)